



防衛省「武器使用拡大」

制が 隊員を殺す

1を行う可能性がある。

3月から安保法制を反映さ
が前提となる。さらに来年
軍の指揮下に組み込むこと
時から自衛隊を事実上、米
施行は来年2月とされ、平

今後のスケジュールとし
て安保法案成立は8月中、
審議中の安保法案の成立を
前提に、今後、自衛隊が海
外でどのようなミッション
をするかを詳細に検討した
ものだ。

参院の安保法制特別委員
会で8月11日、共産党の小
池見議員が暴露した自衛隊
の内部資料のタイトルは、
「日米防衛協力のための
指針」(ガイドライン) 及
び平和安全法制関連法案に
ついて。自衛隊統合幕僚
監部が作成したものだ。今
年4月に18年ぶりの改定が
合意された日米防衛協力の
新ガイドラインと、参院で

「この文書について防衛省
は指し合をしていますが、
内部資料は統幕で作成した
パワーポイントの一部のよ

せ、陸上自衛隊は南スーダ
ンでの国連平和維持活動
(PKO)で「駆けつけ警
護」を実施することも検討
されている。駆けつけ警護
とは、PKOで活動中の自
衛隊が、他国軍や民間人が
危険にさらされた場所に駆
けつけ、武器を使って助け
ること、今のPKO法で
は認められない。しかし、
資料では自分自身を守る自
己保存型の武器使用につい
ては、「どのような場面で
も憲法第9条との関係で問
題にならない」と解釈が付
け加えてあった。他にも米
軍が南シナ海で展開してい
る監視活動への関与も検討
されていた。

2016年2月に安保法制が施行され、南スー
ダンPKOで自衛隊の武器使用が解禁。安
倍政権が描く青写真が国会で暴露され、衝撃が
走った。イラクへの派遣で自衛隊の自殺者は29
人にのぼる。その上、武器使用解禁で死のリス
クも増し、「捨て駒にされる」と隊員らは訴える。

うです。統幕は寄り合い世
帯なので様々な意見があり、
安保法制反対派が小池議員
にリークしたのでしよう。
安保法制の施行を2月と想
定すると、自衛隊員を海外
派遣する前に必要となる訓
練には半年ほどかかる。「駆
けつけ警護」を実施するな
ら、武器、物資の調達、隊
員選抜などをもう始めない
と間に合わないのです(自
衛隊関係者)

安倍首相はインターネッ
ト番組で、自衛隊の武器使
用権限が拡大されることで
「リスクは減る」との認識
を示しているが、資料で検
討事項に入っている南スー
ダンでの駆けつけ警護は、
安全な任務とはいえない。
国連職員として紛争処理に
関わった伊勢崎賢治・東京
外国語大教授は言う。
「国連は、コンゴでも武装
勢力による虐殺を止められ
なかったことで批判を浴び、
2013年に中立・軽武装
のPKOから戦闘部隊の導
入に方針を転換しました。
実は、コンゴと南スーダン

2016年2月に安保法制が施行され、南スー
ダンPKOで自衛隊の武器使用が解禁。安
倍政権が描く青写真が国会で暴露され、衝撃が
走った。イラクへの派遣で自衛隊の自殺者は29
人にのぼる。その上、武器使用解禁で死のリス
クも増し、「捨て駒にされる」と隊員らは訴える。

来年2月施行で

安保法 自衛

協力のための指針(ガイドライン)及び
和安保法特設委員会について



今後の進め方

項目	2015	2016	2017	2018	2019
安保法	成立				
自衛隊					
防衛省					
防衛費					
防衛力					

イラク派遣隊員29人が自殺
帰還隊員らが語ったPTSDの恐怖
「血流低下で頭痛、性格が変わった」
「捨て駒にされるだけ」

○ 武器使用の権限について「任務遂行型」の武器使用
「駆け付け警護」は『共同防衛』及び「駆け付け

のミッションは連動している。自衛隊が送られている南スーダンのPKOも、戦闘部隊になる可能性がある。すると、住民保護のために、自衛隊は武装勢力と交戦しないといけない。その時点で憲法違反になります」

戦後、一人も殺していない自衛隊が、この法案に拒否反応を示すのも当然かもしれない。現役の自衛隊員も、不安や不満を隠そうとしない。陸上自衛隊でイラク・サマワに派遣された経験のある隊員は言う。

「全面的に米軍が守ってくれる」と上官に言われ、手当もよかったので、家族に反対されたけど、イラクに行った。しかし、現地でウンだとわかった。米軍は交戦して死者、負傷者がバンバン出ていた。米軍兵士と現地で話すと、「イラクすべてが戦場、日本も参加しているんだ」と言われた。憲法9条があるから自衛隊に入ったという人は、かなりいます。私もそう。基本的には戦場に行くことはな

いだろうと思っていたが、安倍首相は変えようとしている。内心ではみんなブルーインクです。政治家はいいよ、戦場に行かないからね」

イラク戦争では、政府はサマワ地域を「非戦闘地域」とし、復興支援活動に03年から09年まで自衛隊を派遣。自衛官に死者は出なかったものの、帰国後に精神面で変調をきたし、自殺した例が多数報告されている。

帰還幹部、うつに メスで自殺する

6月5日、民主党の阿部知子衆院議員が提出した質問主意書への回答で、政府はイラク特措法に基づいて派遣された約5600人の陸上自衛隊員のうち21人、約3600人の航空自衛隊員のうち8人が、在職中に自ら命を絶っていたことを明らかにした。

10万人当たりで換算すると、陸上自衛隊のイラク帰還隊員の自殺者数は38・3人。これは、一般戦の国家

公務員の21・5人、自衛官全体の33・7人(いずれも13年度)に比べても高い値だ。過去に自衛隊員のメンタルヘルスを担当した防衛省関係者はこう話す。

「派遣前に精神面で問題なしとして選抜された隊員がこれほど自殺しているというのは、かなり高い数字。しかも、これは氷山の一角で、自殺にいたらないまでも、精神面で問題を抱えている隊員が多くいるはず」

その詳細は公表されていないが、29人の自殺者の中には、幹部らも含まれることが、関係者の証言で明らかになっている。



インド洋に向けて出港する海上自衛隊の補給艦「とくわ」(2002年)

一人は04年から05年までイラクに派遣された、当時40代の衛生隊長(2佐)だ。家族の反対があつたものの、医師として現地に赴き、自衛隊員の治療だけでなく、現地で病院の運営も手伝い、時には徹夜の作業が続くこともあつた。

それが、イラクから帰還した後うつ病を発症。やがて自殺願望が出るようになった。首をくくって自殺未遂をしたこともあつた。

治療のために入院もしたが病状は改善せず、最期は自らの太ももの付け根をメスで切り、自殺した。遺書はなかつたという。

そして当時30代の警備中隊長(3佐)は、05年に妻子を残したまま、車内に練炭を持ち込み、自殺した。警備中隊長は百数十人の警備要員を束ね、指揮官を支える役割で、この中隊長の部隊はロケット弾、迫撃砲などの攻撃を数回受けたほか、市街地を車両で移動中、部下の隊員が米兵から誤射されそうになったこともあ

つたという。中隊長は帰国後、日米共同訓練の最中に、「彼ら(米兵)と一緒にいると殺されてしまう」と騒ぎ出したこともあつたという。

帰国直後に出る 遅発疲労の障害

第1次カンボジア派遣施設大隊長を務めた元東北方面総監の渡邊隆氏は言う。

「カンボジアへの派遣以降、海外に派遣された自衛隊員で自殺をした人は59人います。PTSD(心的外傷後ストレス障害)は個人個人に影響があると考えないといけない。「弱い」と言ってしまうと、そこで終わってしまうのです」

前出の防衛省関係者によると、恐怖によるPTSDなど「高強度のストレス」だけでなく、現地での仕事の単調さ、駐屯地や船内などと密閉された中で人間関係による「低強度のストレス」が原因となることも多かったと話す。

「たとえば、イラクまで来たのに宿営地の売店で働く隊員が「仕事の達成感が得られない」と感じたり、あるいは環境が激変して夏の気温が60度を超える暑さに不快感を感じたりする人もいる。現地の人たちとの対人関係や、上司から適切な評価を得られなかったことなども、低強度ストレスに含まれます」

それでも治療が必要な隊員はまれで、症状が出るのは日本に帰国してからがほとんどだった。8月まで陸上自衛隊のメンタル教官で、「自衛隊メンタル教官が教える 心の疲れをとる技術」(朝日新聞出版)の著書がある下園社太氏は言う。

「遅発疲労」と呼ばれるもので、現地では極度に高まった緊張感のために感じなかった疲れが、帰国して落ち着くと、一気に出てくる。私たちは「荷下ろし」と呼んでいますが、そこでストレス障害を発症するケースが多い」

そして帰国した自衛官が

ストレス障害を発症し、家族関係が危機に陥ったケースも多くあつた。

07年に発表された「国際安全保障」に掲載された自衛官の妻への聞き取り調査によると、40代の幹部自衛官は、イラクに7か月滞在し、帰国した直後から頭痛に悩まされるようになった。その原因は「脳内の血流が下がった」からだという。

性格もまったく変わってしまった。ちよつとした言葉に敏感に反応し、普通に話していたかと思うと、突然機嫌が悪くなる。棚の上に手を伸ばしただけで「自分の頭の上に手を伸ばした」と言ってしまう。病院で「ストレス障害」と診断され、3か月半入院した。症状が悪化していたときは、妻も「気が滅入って」しまったという。

海外派遣で大きなショックを受け、今もPTSDに悩む人もいる。

元航空自衛隊3曹の池田頼将さんは、06年4月にクウェートに派遣された。任

務は、主に各国と日本のフ
ァクスのやり取りを管理す
る通信係だった。

「赴任地はクウェート軍の
基地内でしたが、地雷が埋
め込まれている場所もあり
ました。米軍が地雷の処理
をしようと、爆発音で窓ガラ
スが震え、地震のように建
物が揺れる。敵に攻め込ま
れることはなくても、緊張
感がありました」

PTSDの原因となった
事件があったのは、同7月
に基地内で行われたマラソ
ン大会だ。参加した池田さ
んは2・5の折り返し地点
を回った直後、後ろから
ドスンという音がし、体こ
と吹き飛ばされた。

「気がついたときは米軍の
医務室でした。米軍が雇っ
ていた民間のバスが、前方
不注意で私の左半身を背中
からはねたそうです」

一命はとりとめたものの、
首や肩の痛みが激しく、ま
ともに動くことができなく
なった。職務に復帰してか
らでも、ソファで横になりな
がらでないと言葉ができな

い状態が続いた。上官には
繰り返して日本に帰国して治
療を受けたいと訴えたが、
1カ月半放置され、結局、
任期満了の8月下旬になっ
てようやく帰国できた。

自衛官が戦場で 抱えるトラウマ

日本で精密検査を受ける
と、「外傷性頸関節症」と
診断された。しかし、すで
に治療は手遅れだった。い
までも口は1程度しか開
かず、食事も流動食だ。取
材時も座ったままでの会話
は難しく、時おり机の上
うつぶせになる。

「日本に帰ってからは、夜
は眠れず、うつ病にもなり
ました。夜中に心臓がバク
バク鳴って、息苦しくなる
んです。事故のフラッシュ
バックもあって、今でも何
もないのに後ろを振り返っ
てしまう。「死にたい」と
何度も思いました」

帰国後、池田さんは、か
らだが不自由になったこと
でパワハラやいじめを受け、

11年10月に依頼退職に追い
込まれた。公務災害で出た
補償金は、800万円程度。
妻と3人の子ともがいるが
障害が残っているために再
就職もできない。結果とし
て、離婚せざるをえなくな
った。今では生活保護を受
けながら、一人で暮らして
いる。

前出の下園氏は言う。
「多くの自衛隊員は、国の
ためになるのであれば、危
険な場所に行く覚悟を持っ
ています。ただ、海外派遣
される隊員の心のケアは、
まだまだ足りていません。
メンタルヘルスの専門家を
増やし、隊員への教育も拡
充していく必要がある」

イラクで激しい戦闘をし
た米国では、帰還した兵士
のメンタルヘルスがすでに
社会問題になっている。

米陸軍の調査を紹介した
報道によると、イラクから
帰還した3〜4カ月後の兵
士の約3割に、精神的な問
題が出た。12年には、現役
米兵の自殺が349人にと
なり、同年のアフガニスタ

ンでの戦死者(229人)
を上回った。

しかし、日本にとってこ
の現象は対岸の火事ではな
くなるかもしれない。冒頭
で紹介したように、自衛隊
の「駆けつけ警護」で、自
衛官のリスクが上がる可能
性が高いからだ。

自衛隊のイラク派遣当時
内閣官房副長官補を務めた
元防衛省幹部の柳澤協二氏
は指摘する。

「米国の海兵隊員の話を知
ると、イラクでは「とにかく
動くものは何でも撃て」
という命令が出ていたので、
「怪しい奴だと思って撃ち
殺したら、コーランを持つ
たおじいさんだった」とい
う話がたくさんあるわけ
です。殺した方のトラウマは
すごいものがある。今回は
イラク復興支援以上のこと
をやれる法案になっている。

そういう問題を議論しない
まま、法案が通ってしまう
ことに危機感を感じます」

前出の自衛隊員がこう心
情を吐露する。
「イラクに一緒に行った隊

員はずっと、「いつやられ
るのか」という悲惨な場面
がフラッシュバックのよう
に、頭に浮かんでしまう」
と悩んでいた。私知って
いるだけでも、精神的に参
って辞めたり、病院に行っ
ていたりするのが数人いま
すから、全国的にはかなり
の数じゃないですか。いま
自衛隊の夫婦の間では、戦
場に行く可能性のある夫は
辞め、妻が収入を確保する
ため、仕事を続けるという
話も出ています」

前出の池田さんは近所で
安保法制に反対するデモが
あると、調子がいい日は参
加している。

「安保法案が通れば、僕み
たいに捨て駒にされる自衛
官が増えます。犠牲者をこ
れ以上、一人たりとも増や
してほしくないんです」

4月に合意された日米ガ
イドラインの内容に合わせ
るように作られた今回の安
保法案。成立を急ぐあまり、
国会では自衛官の命が置き
去りにされているのではな
いだろうか。